

18年セ試志願者数は、 3年連続減となる55.5万人前後か！？

- 出願締め切り時点の志願者数は53万3,102人 -

旺文社 教育情報センター

17年10月14日

新課程初年度となる18年センター試験の出願受付が、10月14日締め切られた。大学入試センターから発表された、同日17時現在の出願状況は以下のとおりである。

出願総数	533,102人(543,028人；-9,926人、1.8%減)
<内訳>	
高等学校等卒業見込者 (高等学校等経由出願)	419,545人(412,748人；+6,797人、1.6%増)
高等学校卒業者等 (個人直接出願)	113,557人(130,280人；-16,723人、12.8%減)

(注) 1.()内は、前年締め切り(10月15日17時現在)の志願者数、及び増減数と割合を示す。
2.10月14日の消印まで出願を受け付ける。
3.消印有効分を含めた出願総数については、11月上旬、確定志願者数については12月上旬に発表される予定。

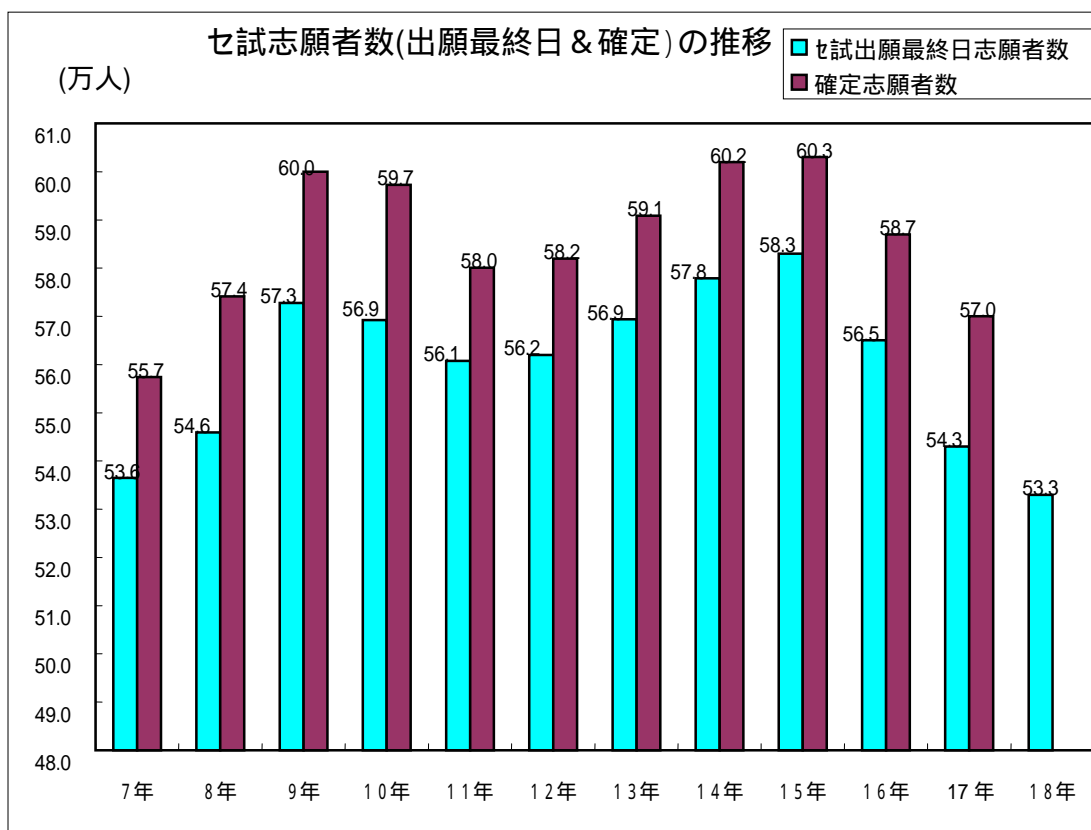
最終的な志願者数は、今後消印有効分の2万数千人程が加わり、55万5,000前後になるとみられる。これは、3年連続の減少で、17年の56万9,950人の約2.6%減となる。高等学校等卒業見込者(現役)の志願者数は、17年より6,797人(1.6%)の増加。18歳人口・高卒者数が約3%減少することが見込まれる中で、1.6%も増加している。

これは、私立大のセンター試験参加増(31大学81学部増の439大学1,173学部。センター試験利用定員約2,300人増の3万5,700人)と短大の参加増(25短大増の137短大)、国立大のセンター試験5教科7科目以上の定着から少数科目受験へ流れるセンター試験利用入試の私立大受験者層の拡大などが原因としてあげられよう。

18年の18歳人口は、17年より4万人(2.9%)の減少、高卒者数は3万5,000人(2.9%)

の減少がそれぞれ見込まれている。また、大学受験者数(実数)も17年より4万2,000人(6.0%)減の65万7,000人、短大は4,000人(4.1%)減の9万4,000人程度とみられる。一方、浪人等は1万6,723人(12.8%)と、17年同様2ケタ減で、16年から3年連続の減少である。13%近い大幅な減少は、受験生数の減少に加え、新課程入試に対する不安から17年入試で浪人を避けたこと、16・17年と2年連続でセンター試験の平均点がアップしていることに対する不安、先が見えない不安定な経済情勢など、浪人を敬遠する傾向が一段と強まったことによる。

下図に、センター試験出願最終日と確定の志願者数の推移、センター試験を利用する私立大・短大数の推移をそれぞれ参考までに掲載した。



(大学・学部 / 短大)

